

地質ニュース目次

No. 86 (1961. 10) ~No. 100 (1962. 12)

| | | | |
|-------------------------------------|---------------------|--|----------------|
| (地質) | | ケンブリッジ大学での研究生活 | 90 |
| 地質図幅調査事業の歴史 | 98 | フランス見たまま (1)(2) | 90. 91 |
| 地質図のいろいろ | 98 | ハワイ島とオアフ島の火山 | 89 |
| 地質家抄 | 98 | (国連・国際会議) | |
| 空中写真による地質判読 | 86 | 太平洋科学会議に出席して | 88 |
| 空中写真地質講座 (1)(2)(3)(4)(5) | 94. 96. 97. 99. 100 | ローマで開かれた地熱の国際会議に出席して | 89 |
| シラス | 87 | 第1回国際花粉学会議に出席して | 98 |
| 臨海工業地帯における地下構造調査 | 91 | 国連主催空中探査講習会地質調査所で開催 | 87 |
| 焼岳の爆発 | 97 | 国連主催空中探査講習会の回顧 | 90 |
| 十勝岳の爆発 | 98 | 国際火山学会議に参加して | 97 |
| 目で見える地学 (その6) 堆積岩(1) | 91 | その他 | |
| 特集 工業用水 | 92 | ソ連見本市を見て ソビエトの地下資源とその調査研究 | 86 |
| (鉱床) | | ソ連技術者地質調査所を見学 | 87 |
| モリブデン | 89 | ソ連の海洋調査船ビチャージ号を見て | 89 |
| ラテライトについて | 91 | 堆積岩研究のシンポジウム開く | 96 |
| 石灰石・ドロマイト中の不純物 | 93 | 屋久島経済開発調査団に参加して | 97 |
| わが国の層状含銅硫化鉄鉱床(キースラーガー)について(1)(2)(3) | 94. 97. 99 | 地質調査所創立80周年を迎えて | 98 |
| 軽量骨材資源 (その1) パーライト | 94 | 岡山県津山市から化石獣類が発見された | 99 |
| 銅ヶ丸鉱山むかしむかし | 90 | 川崎市郊外で見つかった古墳時代の遺跡 | 100 |
| 枝垂砂金地帯の点描 | 94 | 天然記念物 (8) 岩屋観音窟 | 99 |
| 特集 日本の鉄鉱資源①② | 95. 96 | 地質調査所の各部署を尋ねて | 技術部 試験課 86 |
| 古東京湾のナゾをもとめて……常総台地かけある記 | 98 | 〃 技術部 化学課 | 87 |
| (燃料) | | 〃 技術部 地球化学課 | 88 |
| 日本の燃料資源の探鉱・開発上の地質学的諸問題1 天然ガス | 93 | 〃 技術部 工作課 | 89 |
| 躍進する南関東ガス田地帯 一草加 R-I 号井の成功 | 94 | 〃 資料課 | 90 |
| 春日部層序試鑑 (予報) | 100 | 〃 地質相談所 | 91 |
| 太平洋地域における植物群変遷の歴史 | 97 | 支所・駐在員事務所を尋ねて | 北海道支所 93 |
| 植物化石の研究 (その3) | 93 | 〃 | 仙台駐在員事務所 94 |
| 花粉のゆくえ (1)(2)(3) | 97. 99. 100 | 〃 | 名古屋駐在員事務所 97 |
| (物理探査) | | 〃 | 大阪駐在員事務所 99 |
| 東京湾の海底谷 | 89 | 地質調査所出版物の取り扱い先について | 88. 93 |
| 国産音波探査装置の完成 | 91 | 地質ニュースお求めの方へ | 88. 93 |
| 人工地震 | 99 | 四国駐在員事務所の移転 | 93 |
| (測 量) | | 地質ニュース10年のあゆみ | 95 |
| 地質調査に伴う測量速算法の一例 | 94 | 学会ニュース | 97. 99 |
| (試 験) | | 地質調査所創立80周年記念式典行なわれる | 99 |
| 鉄筒法によるボーリング | 97 | (表紙の写真) | |
| (化 学) | | 花崗岩の肌 | 本州路 8 86 |
| ウランの蛍光分析と透過型蛍光光度計 | 86 | 板状節理 | 本州路 9 87 |
| ドロマイト資源調査における現地分析 | 100 | 俵岩 | 本州路 10 88 |
| (地球化学) | | 横岳山頂にて | 九州路 1 89 |
| ヘリウム資源について | 87 | 球状電氣石 | 九州路 2 90 |
| 硫化鉱物の微量成分 一方鉛鉱一 | 87 | 阿蘇山にて | 九州路 3 91 |
| 西日本の玄武岩・新生代火山岩類について①② | 90. 94 | 工業用水 | 92 |
| Dating (絶対年代測定) とくにわが国の場合 | 91 | 関の尾の欧穴 | 九州路 4 93 |
| 地質絶対年代測定に関する諸問題 (講演録) | 99 | 縞状チャート | 九州路 5 94 |
| (工 作) | | 1,700トンの熔鉱炉 | 96 |
| 自動式ダイヤモンドカッティングホイルで岩石・鉱物の薄片を作る | 99 | 鉄鉱床の露天掘 | 96 |
| (企 画) | | 鬼の洗濯岩 | 九州路 6 97 |
| 昭和37年度事業計画について | 93 | 狐島の旧坑 | 九州路 7 98 |
| (外国のようす) | | (写真とその解説) | |
| スウェーデンの鉄鉱床 | 86 | 岩肌 | 86 |
| フランス核原料資源のすう勢 | 88 | 地震探査 峠の運搬 | 87 |
| カリマンタンセブク島の鉄鉱床 | 89 | 重量制限 1 トン | 88 |
| アラビア石油 カフジ油田 | 90 | 松川地熱坑井の噴気 | 90 |
| 空から見た米国西部の地形と地質 | 100 | 食われた岩 | 91 |
| パキスタン地質調査所 (2) | 86 | 地殻のしわ | 94 |
| インドネシアの地質調査所 | 88 | 石の波 | 96 |
| フランスの地質調査事業 | 89 | 水食模様 | 97 |
| 香港大学創立50周年記念式典に参列して | 88 | (出 版) | |
| インドに旅して ①②③④⑤ | 87. 90. 93. 97. 99 | 地質調査所月報 Vol. 12. No. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. | 86. 87. 89. 90 |
| パミール高原の旅 | 88 | 地質調査所月報 Vol. 13. No. 1. 2. 3. 4. 5. 6. | 91. 93. 94. 96 |
| バリ島の一週間 | 91 | 地質調査所月報 Vol. 13. No. 7. 8. 9. 10. 11. 12. | 100 |
| イランさまさま (1)(2)(3)(4) | 93. 94. 95. 96 | 昭和36年に出版した地質図幅類 | 91 |
| インドネシアの旅 | 100 | 昭和21年から昭和37年までに発行した地質図幅類 | 98 |
| 滞英2年の生活を顧みて 一6一 庶民の生活 (1) | 89 | 地質調査所報告 No. 193. 194. 195. 196. | 100 |

資 料

千島列島の火力活動

○地質調査所月報(第13巻 第9号)

報 文

本島公司・柴田賢・米谷宏・中井信之: 古期岩層のメタンガスについて

伊藤司郎・大津秀夫・高橋清: 宮城県細倉鉱山の硫化鉱物中の微量成分について

山田敬一: 北海道遠軽町奥瀬戸瀬鉱山および弓削瀬戸瀬鉱山の銅鉱床

中村久由・前田憲二郎・鈴木孝: 福井県芦原温泉の熱構造ならびに泉源保全に関する考察

資 料

ソ同盟の天然ガス

○地質調査所月報(第13巻 第10号)

報 文

木野義人・比留川貴: 宮崎県下工業用水源概査報告

森和雄・後藤準次: 山形県庄内平野の工業用水源調査報告

本島公司: 島根県松江・出雲両市付近の天然ガスについて

藤貫 正: 石灰石・ドロマイト中のリン迅速定量法

概 報

横浜市北東部の天然ガス地下貯蔵予察報告
名古屋市近傍の天然ガス地下貯蔵予察報告
大阪府豊中市島熊山付近の地質-天然ガス地下貯蔵候補地概査報告一

○地質調査所月報(第13巻 第11号)

報 文

岩崎章二・小尾中丸・金谷弘: 北海道南部地域空中放射能探査報告

岩崎章二・小尾中丸・金谷弘: 近畿北部地域空中放射能探査報告

堀川義夫・氏家明・島田忠夫: 秋田県自動車放射能探査報告

中井順二・堀川義夫・細野武男: 栃木県自動車放射能探査報告

堀川義夫・細野武男・佐々木政次・宮林学: 北陸地域自動車放射能探査報告

杉山友紀・氏家明: 北近畿自動車放射能探査報告

細野武男・中井順二・村山正郎: 鳥取県自動車放射能探査報告

曾我部正敏・鈴木泰輔: 宇部炭田古第三系の放射能強度

概 報

佐世保層群中上部における炭層 炭層の上下盤の等層厚線図および舞層間の等層厚線図について
美濃炭田土岐地区北東部における新第三系の放射能強度について
佐賀県背振山麓のウラン調査
宮崎県秋元鉱山のウラン概査報告
熊本県八代鉱山のウラン調査
大分県南部のマンガン鉱床におけるウラン予察

○地質調査所月報(第13巻 第12号)

報 文

市川金徳: 常磐炭田大津地区における地震探鉱法の研究(第1報 屈折法)

川島 威: 常磐炭田大津地区における地震探鉱法の研究(第2報 反射法)

陶山淳治・高木慎一郎: 直流を用いた大地比抵抗の測定法について

一深部物理探査研究 第10報一

松下敏夫・森和雄: 岐阜県南西部の被圧地下水
—とくに自噴機構について—
井上英二: 熊本県宇土半島三角周辺の古第三系

概 報

青森県淋代南部海底砂鉄調査

○地質調査所報告

第193号 本島公司・牧真一・牧野登喜男・伊藤司郎・柴田賢: 北海道床路地域の炭田ガスについて

第194号 Osamu Fukuta: EOCENE FORAMINIFERA FROM THE KYORAGI BEDS IN SHIMO-SHIMA, AMAKUSA ISLANDS, KUMAMOTO PREFECTURE, KYUSHU, JAPAN

第195号 地質調査所化学分析成果表 I(岩石・鉱物 1954~1960)

第196号 地質調査所化学分析成果表 II(地下水 1950~1961)

○地質図幅

・1:50,000

大間・佐井(青森) 弘前・太良鉱山(秋田) 湯本(岡山)
米子・大山・赤碓(鳥取) 肥前高島(長崎)

・1:200,000

羽幌(北海道)

・日本水理地質図(3)(関東平野西南部)

竹田技官エクアドルへ

鉱床部竹田英夫技官は エクアドル国政府の要請により同国の鉱物資源開発の技術援助のため 去る11月10日羽田発出張した。なお 滞在期間は約5カ月の予定

あとがき

・春日部層序試錐については すでに新聞紙上でご存知のように 関東平野下に有望な石油・天然ガスの埋蔵が確認されたことは大きな収穫であり その地質学的問題についての詳細は目下検討中ではありますが とりあえず予報としてその概略を解説しました

・空から見た米西西部の地形と地質は 空中写真地質講座の参考資料として 併読をおすすめします

・「キースラーガーについて」の筆者 竹田英夫技官はエクアドル国へ出張中のため 続編は同技官帰国まで延期させていただきます ここにおおびかたがたお知らせします

・北海道地区の方々へお知らせ
北海道の5万分の1地質図幅や道立地下資源調査所の出版物 および地質ニュースの販売は 下記で取り扱っております

札幌市中島公園 北海道立地下資源調査所内
北海道鉱業振興協会 Tel.札幌2局 4527

・本年もあとわずかを残すのみとなりました キューパ問題・インド国境紛争・貿易自由化など内外共に忙しい年でありました 希望にみちた新春をお迎え下さるよう心から お祈り申し上げます (H)

地 質 ニ ュ ー ス

第100号 12月号

定価 ¥170 円12

昭和37年12月25日 発行

編 集

工業技術院 地質調査所

発行人

吉 富 保 重

発行所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (331) 7173・9387

振替口座 東京 32246

印刷所

共同印刷株式会社